

創刊にあたって

患者のみなさま、地域のみなさまへ

みなさまが当病院を選ばれ、来院されましたこと誠にありがとうございます。みなさまの御要望に応えるために、私たち職員一同最大限の努力をしたいと思っています。そのためにみなさまに判りやすく納得出来るように、病院の行っている業務ばかりでなく病院の考え方、取り組み方等、病院の情報についての発信誌として従来の“ホスピタルインフォメーション”を装いを新たにし、警病ニュース“夕陽ヶ丘コミュニケーションズ”として刊行することに致しました。

当院は昭和12年(1937)の開設当初より、地域に開かれた病院として60年余りに亘ってみなさまの健康を守る努力を続けてきました。それにあたっては当院の理念にも謳っているように、“愛・熱・和”の精神をもって、みなさまに接するようにしています。また病気の治療には高度かつ最善の医療を提供する努力を重ねています。私達が行っている医療については“大阪警察病院医学雑誌”で発表したり、地域の先生方には“夕陽ヶ丘メディカルニュース”として情報提供していますが、患者のみなさまにはもっとなじみやすく特色のあるニュースをお届けしたいと思っています。同時に投稿欄を設け、みなさまとのコミュニケーションづくりにも役立てたいと思いますので、御意見や御感想等何でも結構です。是非御投稿頂ければ幸いです。



中尾 量保

Nakao Kazuyasu
大阪警察病院長
大阪大学医学部卒、同第一外科(現:臓器制御外科)入局、同講師、助教授を歴任、当院外科部長を経て平成10年より現職。日本外科学会特別会員他、他学会評議員等多数。消化器外科・内分泌外科を専門領域とし、なかでも進行癌の手術的治療について発表論文多数。



(心臓血管外科部長
榊原 哲夫)

心臓血管外科

虚血性心疾患、大動脈疾患、弁膜症、先天性心疾患など外科治療の対象となるすべての心大血管疾患の外科治療を行っています。他に末梢血管の外科治療にも積極的に取り組んでおります。心臓や大動脈の手術は危険で怖いと思っておられる方も多いと思いますが、そんなことはありません。成績は年々向上し我々大阪警察病院の心臓血管外科では昨年(平成13年)140例の人工心肺を用いた心臓大血管の手術を施行しましたが脳合併症などの重大な合併症を起した症例はありません。心臓や大動脈に重大な病気があり、それを手術でしか治せない場合は安心して手術されることをお勧めいたします。

安全にできるだけ快適に健康を取り戻していただけるよう全力を挙げて治療させていただきます。

診療科のご紹介

健康わんぱいとレッスン

(眠っている間に呼吸が止まる?)

1 Point Lesson

**睡眠時無呼吸症候群という病気を
ご存知ですか?**

肥満の人に多く、睡眠中に上気道の閉塞をきたし、頻回に呼吸の中断を伴う大きないびきが特徴です。十分な睡眠が得られないために日中の眠気がひどくなると、仕事の能率が落ちたり、居眠り運転で事故を起こしたりします。

また、朝から頭痛がすることがあります。毎夜繰り返される無呼吸が、何年もの間に高血圧、心不全、脳卒中などの心血管系障害を悪化させ

るといデータもあります。

当院神経科では睡眠時無呼吸症候群の検査(睡眠ポリグラフ)や治療(CPAP)をおこなっていますので、いびきや日中の眠気で困っておられる方はぜひご相談ください。

水曜日午前の神経科睡眠外来にて診療を行っております。
(神経科部長 東均)

病気と栄養

上手に減塩するためのコツ

食塩の過剰摂取が、高血圧や心臓病を引き起こす要因の1つになっているといわれています。減塩食は「まずい」というイメージがあるかもしれませんが、日頃の食生活を少し注意すれば、塩分の摂取を減らすことができます。試してみませんか?

- 1)うどん、そば等食べるときは、汁を残す。
- 2)味噌汁は具たくさんにし、汁を減らす。
- 3)漬物や佃煮等は、食べる量を少なくする。
- 4)魚を焼く時は塩をせず、少量の醤油や二杯酢で食べる。
- 5)魚は、干物より生魚を調理して食べる。
- 6)揚げ物は、ソースよりレモン等酸味を利用して食べる。
- 7)加工品(ハムやかまぼこ等)は避けるようにする。
- 8)食べる前から、ソースや醤油はかけず、味を見てからにする。



(栄養管理課 西尾 勢津子)

